

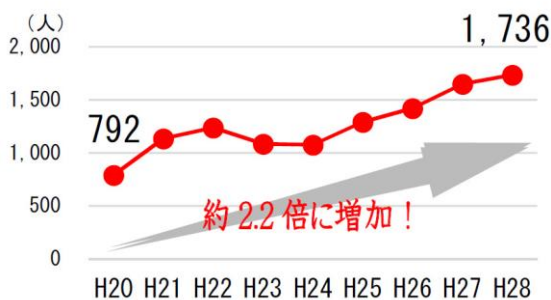
データで考える！インターネットトラブルの現状と傾向

<P11⑤～P14⑧の事例と合わせて考えてみましょう>

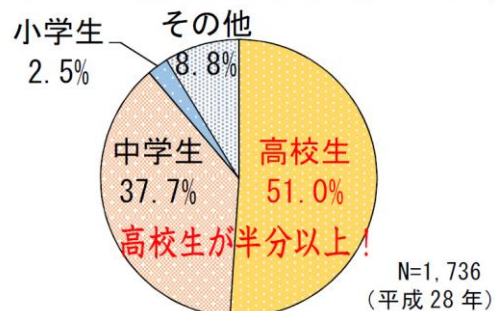
出会い系サイト規制法改正(平成20年)に伴い、出会い系サイトに起因する犯罪被害児童は年々減少しており、平成28年度の被害は過去最少でした。その反面、コミュニティサイトによる被害児童が急増しています。

SNSなどのコミュニティサイトを通じた犯罪被害は、過去最多

コミュニティサイトで被害にあった子供の数※



コミュニティサイトで被害にあった子供の内訳※

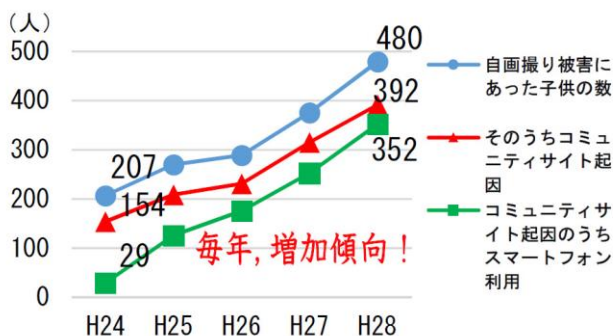


※【出典】警察庁・文部科学省「夏休みを迎える君たちへ～ネットには危険もいっぱい～」(平成29年6月27日公表)

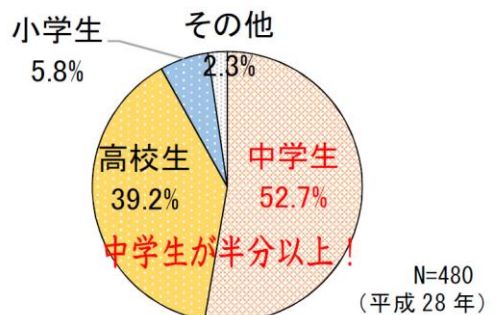
コミュニティサイトでのやり取りがきっかけで、児童買春や児童ポルノ等の性犯罪被害にあう子供が急増しています。その半数以上は「善悪の区別や危険の判断はできるから」と、SNSを比較的自由に活用している高校生。リアルな友達とネットで知り合う人の違い、頭ではわかっているはずなのに……。

だまされたり脅されたりして、裸の写真を送らされる被害も年々増加

自撮り被害にあった子供の数※



自撮り被害にあった子供の内訳※



※【出典】警察庁・文部科学省「夏休みを迎える君たちへ～ネットには危険もいっぱい～」(平成29年6月27日公表)

裸や下着姿のような露出の多い写真を要求され、自ら撮影した画像を送信させられる被害も増えています。コミュニティサイト+スマホという組み合わせが圧倒的に多く、中学生が半数を超えています。18歳未満の子供の裸の写真は、「撮影」も「送信」も「所持」も児童ポルノ禁止法違反なのに……。



ネットの向こう側の人を見極めることは、大人でも簡単ではありません。「人とのやり取りにより生じる危険=コンタクト・リスク」を避けるためには、データから背景を想像し、そのリスクの存在を知っておくことが必要です。